

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

耐寒ビバークと雨引山登山2

翌日（12月24日）は一面にうっすら雪が積もっていた。朝8時半に出発、雨引山に登った。キャンプ場からおおよそ20分で登山道入り口に到着。昨年も全く同じプログラム



薪づくり



焚火を囲んで



懸垂下降

で行ったが、今年は雪が少ない。しかし、最初からの急登で、雪に足を滑らす生徒たち。そこにすかさず松田さんから「つま先に乗ってるから滑るんだ。登りはかかとで歩け」と指示が出る。雪上歩行は、慣れているものと慣れていないものの差が歴然だ。長野にいても、小谷・白馬の生徒たちはやはり雪の上を歩くのがうまい。

おおよそ1時間半で熊の穴岩という大岩に到着。たかだか7、8mの岩で、脇にはフィックスロープが張られているが、あえてそこを使わず、昨年もここでロープワークと称して、懸垂下降を行った。計画書を作っているとき、2年の生徒が「今年はハーネスは持っていかないのですか？」と尋ねてきた。ロープはどんな山行の時にでも持っていくが、ハーネスはいつも持っていくとは限らない。僕は前年のことは忘れていたのだが、生徒は覚えていたのだ。敢えて、ここでハーネスを装着し、懸垂をやることもないのだが、実戦に即した場面でのロープ操作はさほどに生徒の印象に残るものなのかと思われた。だから、今年も敢えてここで懸垂を行った。寒空の下、11人の生徒が全員体験するのに、おおよそ1時間半かかったが、おそらく生徒にとっては忘れられない体験になるだろう。

そういえば、今年は忙しくて、人工壁に行く機会も例年より少なくあまり懸垂の練習をみてやれなかった。今日は松田さんがいたので行えたが、ロープ操作を任せられる顧問が2人いなければ、リスクは大きい。焚火にせよ、ロープワークにせよ、うちの山岳部の生徒は幸せだなあと我ながら思ったが、本当は山岳部の顧問ならだれでもがこのくらいの技術を持っているべきだし、昔はみんなこんなこと当たり前だった。

雪は山頂に近づくにつれ少しずつ増えてきたが、せいぜい足首程度。12時15分に山頂に到着。15分の大休止ののち、下山をした。この山は山麓に林道が通っており、そこを使うと周回コースがとれる。下りはそちらをまわったが、登山道から林道まで下るの

に、雪で登山道が覆われていたので、分岐点から林道にコンパスをあわせて、班ごとにコンパス直進で進ませた。もちろん、これはこの後冬山に連れていくための布石である。雪に覆われた笹の中でもがきながらも、楽しみながらコンパスを使って直進し、目的地に向かうということを経験させることができた。

こうして、これから冬山に連れて行くにあたって、いくつかのことを試しながら、幕営地にたどり着いたのは、14時20分。小粒でもピリリと辛い山行だった。



忘年登山 戸谷峰・六人坊・三才山・烏帽子岩縦走

長野県の高校は冬休みに入るのが遅い。ようやく今日28日から冬休みになった。その冬休み初日、岳陽高校の一年納めの登山を、戸谷峰・三才山で行った。戸谷峰は1629m、岳陽高校ゆかりの鍬ノ峰(1623m)とほぼ同じ高さだが、こちらは登山口が1000mと200mほど高いので、割と気楽に登ることができる。近年松本市が「美ヶ原ロングトレイル」として道の整備をしていることもあって、これまでは知る人ぞ知る静かな山だったが、人気もでてきている。山岳部の中に風邪を引いた生徒がいたりして、参加者は8名とやや寂しかった。9時に登山口を出発。前夜から降った雪がうっすらと山を覆っている。出発したときは快晴の青空がひろがっていたが、次第に曇り空が広がってきた。およそ2時間で最初の山頂である戸谷峰に到着。あいにく北アルプスは雲の中に隠れているが、眼下の松本市は見えた。ここからは今日迎える山がぐるりと見渡せる。これから迎える「戸谷峰～六人坊～三才山～三才山峠」の間はロングトレイルのルートから外れているので、ふみ跡はあるものの、整備はされていない。そのうえ雪がつもっているの、読図山行には最適のフィールドである。12:26に六人坊、12:36に三才山に到着。ここから三才山峠まで、ここも先日の雨引山同様、コンパス直進で一気に下った。



班ごとに読図



山岳部歌を歌う

ここで約1時間休憩。寒い中ではあったが、山岳部歌を歌い、持ち上げたラーメンを作って食べ、今年一年を締めくくった。今の3年生がまだ1年生だった2年前の正月、やはり同じコースをたどったが、この時は、三才山峠から烏帽子岩までの林道が雪が深くて苦労した。しかし、天気はよく、汗ばむほどの陽気だった。一方今日はラッセルもなかったが、小雪交じりの寒い山行だった。なかなかすべてがよい条件にはならないものだ。烏帽子岩からの下りは、いくつかのピークをトラバースしながら下るのだが、元気のいい1年生は地図を見ながら稜線通しに迎えるなど、プチ冒険をも楽しみながら、一気に下った。16:00下山完了。今年一年を締めくくった。